

【地方創生】

(4) 基盤を整え、発展を支える

■ 現状と課題

- ・ 地方創生は、地域間競争の一面もあり、まち・ひと・しごと創生を支える基盤整備は欠かせません。
- ・ 東九州自動車道の開通により、人の流れ、物の流れが変化しています。本県は九州と本州・四国との間を結ぶフェリー航路の8割以上が発着するなど、他県と比べて優位性が高く、今後は九州の東の玄関口としての拠点化をさらに進めていく必要があります。
- ・ 広域的な人の移動を活発化させ、観光誘客、産業振興を図るためには、中九州横断道路等の地域高規格道路の整備推進や、東九州新幹線の整備等、鉄道の高速度の促進が重要となります。
- ・ 人口減少が進む中でも、南海トラフ巨大地震や豪雨災害への備えなど、県民の安全・安心に万全を期していく必要があります。また、県民の命と暮らしを守る社会資本整備と老朽化対策も、これまで以上に進めていく必要があります。

■ これからの基本方向

- ・ 広域交通網の整備など地域間競争の基盤整備を進めます。
- ・ 防災など地域の安全性・強靱性を高めます。

■ 主な取り組み

分野別政策のうち、関係する次の政策・施策に横断的に取り組みます。

① 安心・安全な県土づくりと危機管理体制の充実

- ・ 災害に強い人づくり、地域づくりの推進
- ・ 大規模災害等への即応力の強化
- ・ 県民の命と暮らしを守る社会資本整備と老朽化対策の推進

② 「まち・ひと・しごと」を支える交通ネットワークの充実

- ・ 人の流れ、物の流れの拠点づくり（九州の東の玄関口としての拠点化）
- ・ 広域交通ネットワークの整備推進
- ・ まちの魅力を高める交通ネットワークの構築

■ 目標指標

指標名	基準値 (H26年度)	目標値	
		H31年度	H36年度
大分市中心部まで概ね60分で到達できる地域の割合（再掲）	73%	76%	78%